

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 マタイによる福音書 11:28	讃 美 歌 531 ころろのおごとに
讃 美 歌 87B めぐみのひかりは	献 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566 戦争責任告白	黙 禱
聖 書 サムエル記上 8:19~22	主の祈り 564
エフェソの信徒への手紙 2:14~16	讃 詠 546 聖なるかな、せいなるかな
讃 美 歌 420 世界のおさなる	祝 禱
説 教 『十字架という風穴』	後 奏

紀元前 10 世紀以前、イスラエルという「国」は一種の部族連合だった。各部族の長老は、宗教指導者サムエルに王国の擁立を懇願した(サムエル上 8:5)。サムエルはそれを「悪」と見た(8:6)。なぜならば「わたし(主)が彼らの上に王として君臨することを退けている(8:7)」から。サムエルは主の言葉として、王国になった場合の変化を詳細に語る(8:11~18)。要するに王政が敷かれると「あなたたち(民)は王の奴隷となる(8:17)」。後悔するぞ(8:18)と強く押し留めたが(8:18)、民は聞かずに言い張った。

「いいえ、我々にはどうしても王が必要なのです~王が裁きを行い、王が陣頭に立って進み、我々の戦いをたたかうのです(8:19~20)」。具体的には、戦闘技術に長けた軍隊をつくり(8:11~12)、敵の襲撃に備えようというもの。税が跳ね上がり、過酷な徴用があろうとも(8:13~17)、民はそれを望んだ。だから主なる神はサムエルに「彼らの声に従い、彼らに王を立てなさい(8:22)」と命じた。

神の民イスラエルは伝統的に、王政に否定的だったが、ここで王国へと舵を切る歴史的な転換点。ではなぜ民はこうも王国を求めたのか。「戦争」の恐怖からだ。武力には武力で対抗するしかない、農民兵のままでは、とても戦車や騎兵(8:11)に太刀打ちできない。しかし王を立てることは背信行為。「彼らをエジプトから導き上った日から今日に至るまで、彼らのすることといえば、わたしを捨てて他の神々に仕えることだった(8:8)」。王国や軍隊の擁立は、異教の神々に仕えることであった。

「実に、キリストはわたしたちの平和。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊した(エフェソ2:14)」。壁で隔てられた「二つのもの」とは何か。狭義に見れば「異邦人とユダヤ人」の対立。「肉によれば異邦人であり、いわゆる手による割礼を身に受けている人々(2:11)」という言葉遣い、そんなことは人間の仕業による些細な違いじゃないか、というニュアンスか。

人間を二つに隔てる「壁」はありとあらゆる所にある。「実に、キリストはわたしたちの平和(2:14)」。「実に~平和」という大きな文脈、また「敵意という隔ての壁(2:14)」という言い回しから、単に教会内の民族対立だけのことではないだろう。とはいえ教会内の、人間の仕業による些細な対立は、世において相似形の「隔ての壁」となっている。国家や政治の隔ての壁は、三千年前のイスラエルの民のように、不安や恐怖を煽り立てて、武力増強を促進する。そして神の民の背きは、重要なことを教えてくれている。すなわち人間同士の壁が、神と人をも隔てる壁にもなってしまう、ということ。

「彼らが退けたのはあなた(人間)ではない。彼らの上にわたし(神)が王として君臨することを退けているのだ(サムエル上 8:7)」。「キリストは~御自分の肉において敵意という隔ての壁を壊した(エフェソ2:14)」。人間同士を隔てる「壁」は、神と人をも隔てるものだった。だからこそキリストは、御自分の肉で「十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされた(2:16)」。

人間が理解し合うだけでは、壁を超える世界平和は実現しないだろう。神と人が和解する「十字架の平和」が不可欠だ。迂遠に思えてもここが根本。十字架を知り、十字架を伝え、隔ての壁に十字架型の風穴を開けよう。十字架の穴からの聖霊の風は、神と人の間で吹き、人と人の間を吹き抜ける。

壁を壊すには相当な労力が 壁を越えての行き来には身軽さが だが壁がなくなっても解決しない
むしろ十字架型の穴を小さく開けて 吹き抜けて来る聖霊をそっと感じる事 私の日常において
8/16(土)1:30~3:30 八ヶ岳メディカル・カフェ(集会所)。8/11(月祝)分区社会部平和集会(愛宕町教会)、1:00~聖歌隊讃美、1:30~礼拝、2:00~講演、3:00~質疑。途中からでもご参加ください。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。